

深さ 1 の素イデアルによって判定可能な性質

阪大 理学部 吉田憲一

$A$  をネーター的可換環で単位元を持つものとする。ここで我々は有限生成  $A$ -加群  $M$  についての性質の中で、特に  $\Delta(M) = \{ \mathfrak{p} \in \text{Spec } A : \text{ht } \mathfrak{p} > 1, \text{depth } M_{\mathfrak{p}} = 1 \}$  によって判定可能な  $M$  に関する性質のいくつかを取り扱ってみたい。

そのためにまず  $\Delta(M)$  の特徴づけを行おう。そこでまず有限生成  $A$ -加群  $N$  に対して  $\text{Ass}_A(N)$  を考える。

$\text{Ass}(N) \subseteq \text{Hti}(A)$  のとき  $N$  を *uniform module with hti* と呼ぼう、特に  $\text{Ass}(N) = \{ \mathfrak{p} \}$  の時、 $N$  は  $\mathfrak{p}$  に属する *coprimary module* と呼ばれる。

有限生成  $A$ -module  $N$  に対して  $N_i = \{ n \in N : \text{ht Ann}_A(n) \geq i \}$  と定めれば、 $N_i$  は  $N$  の *submodule* で、ある整数  $d \geq 0$  が存在して次の減少列ができる。

$$N = N_0 \supseteq N_1 \supseteq \cdots \supseteq N_d \supseteq N_{d+1} = (0).$$

この  $\{ N_i \}$  に関して次の命題を得る。

命題: (i)  $D_i(N) = \{P \in H_i(A) : P \supseteq \text{Ann } N_i\}$  とおけば " $D_i(N) = \{P \in \text{Ass}(N) : \text{ht } P = i\}$ ", 従って  $\text{Ass}(N) = \bigcup_{i=0}^d D_i(N)$  を得る。  
 (ii)  $N_i/N_{i+1}$  は uniform module with  $\text{ht } i$ 。  
 (iii)  $f \in A$  を  $N$ -regular element とすれば,  $fN \cap N_i = fN_i$ ,  
 従って  $N/fN \cong N_i/fN_i \cong \dots \cong N_d/fN_d$  を得る。

証明: (i)  $P \supseteq \text{Ann } N_i$  とすれば,  $N_i$  の定義及び  $N_i$  が有限生成であるから,  $\text{ht } P \geq i$  であることが安易にわかる。従って  $\text{ht } P = i$  で  $P \supseteq \text{Ann } N_i$  とすれば  $P$  は  $\text{Ann } N_i$  の minimal prime divisor であるから  $P \in \text{Ass}(N_i) \subseteq \text{Ass}(N)$ 。逆に  $P \in \text{Ass } N$  で  $\text{ht } P = i$  とする。このとき  $m \in N$  で  $\text{Ann}(m) = P$  とするものが存在するから  $N_i$  の定義より  $m \in N_i \therefore \text{Ann } N_i \subseteq \text{Ann}(m) = P$ , 従って  $P \in D_i(N)$  である。

(ii) 次に  $\text{Ass}(N_i/N_{i+1}) = D_i(N)$  を示す。  $P \in D_i(N)$  とすれば,  $m \in N_i$  があって  $\text{Ann}(m) = P$ ,  $\bar{m}$  を  $m$  の residue class とすれば  $\text{Ann}_{N_i/N_{i+1}}(\bar{m}) \subseteq P$ 。今  $\text{Ann}(\bar{m}) \not\subseteq P$  とすれば,  $x \in \text{Ann}(\bar{m})$ ,  $x \not\subseteq P$  が存在する。このとき  $xm \in N_{i+1}$ , 従って  $P \not\subseteq \text{Ann}(xm)$  であるが一方  $\text{Ann}(xm) = \text{Ann}(m) : xA$  で  $x \not\subseteq P$  ゆえに  $P \supseteq \text{Ann}(m) : xA = \text{Ann}(xm)$ , これは矛盾。従って  $D_i(N) \subseteq \text{Ass}(N_i/N_{i+1})$ 。  $P \in \text{Ass}(N_i/N_{i+1})$  とする。  $\bar{m} \in N_i/N_{i+1}$  があって  $P = \text{Ann}(\bar{m})$ 。  $m$  を  $\bar{m}$  の代表元とすれば,  $m \in N_i$ 。  $P = \text{Ann}(\bar{m}) \supseteq \text{Ann}(m)$  で  $m \in N_i$

だから  $ht \mathfrak{P} \geq i$ . 今  $ht \text{Ann}(m) > i$  とすれば  $m \in N_{i+1}$  だから  $\bar{m} = \bar{0}$  となり矛盾する。そこで  $ht \text{Ann}(m) = i$  である。  $\mathfrak{P} \ni x$  に対して  $xm \in N_{i+1}$  かつ  $i = ht \mathfrak{P} = i$ , 従って  $\mathfrak{P} \in D_i(N)$ .  $\therefore \text{Ass}(N_i/N_{i+1}) \subseteq Ht_i(A)$   $\therefore N_i/N_{i+1}$  は uniform module with  $ht_i$ .

(iii)  $f \in A$  を  $N$ -regular element とすれば,  $f \notin \mathfrak{P}$ ,  $\mathfrak{P} \in \text{Ass}(N)$ . 今  $m \in N^*$  かつ  $f_m \in N_i$  とする。  $f \notin \mathfrak{P}$ ,  $\mathfrak{P} \in \text{Ass}(N)$  かつ  $\text{Ann}(fm) = \text{Ann}(m)$ .  $f_m \in N_i$  かつ  $\text{Ann}(fm) = \text{Ann}(m)$  の prime divisor はすべて  $ht \geq i$  かつ  $m \in N_i$ .

$A$  を integral domain かつ  $A$  の integral closure  $\bar{A}$  は有限  $A$ -module で  $ht \mathfrak{P}_i A = 1$ , for  $\mathfrak{P} \in Ht(\bar{A})$  を満たすものとする。  $M$  を torsion free finite  $A$ -module とすれば, ある  $\bar{A}$ -free module  $F$  で  $M \subseteq F \subseteq M \otimes_A Q(A)$  とするものが存在する。  $\phi: F \rightarrow N = F/M$  として  $\phi^{-1}(N_i) = M_i$  とおけば

$$M_2 \supseteq M_3 \supseteq \dots \supseteq M_d \supseteq M_{d+1} = M$$

なる  $F$  の sub-modules の減少列が与えられる。

命題: (i) この chain は  $F$  のとり方に依らない。

$$(ii) \text{Ass}(M_2/M) = \Delta(M)$$

$$(iii) \mathfrak{p} \in \text{Dc}(M_2/M) \text{ で } \mathfrak{q} \text{ を } \mathfrak{p} \text{ に属する primary ideal とすれば,}$$

$$\text{Ext}_{A_{\mathfrak{p}}}^1(A_{\mathfrak{p}}/\mathfrak{q}A_{\mathfrak{p}}, M_{\mathfrak{p}}) = \text{Hom}_{A_{\mathfrak{p}}}(A_{\mathfrak{p}}/\mathfrak{q}A_{\mathfrak{p}}, M_2/M_{\mathfrak{p}}) = \{ \bar{m} \in M_2/M_{\mathfrak{p}} \mid \text{Ann}(\bar{m}) \supseteq \mathfrak{q} \} \otimes_{A_{\mathfrak{p}}} A_{\mathfrak{p}}$$

系:  $\Delta(M)$  は有限集合である。

証明 (i)  $F_1, F_2$  を条件を満たす  $\bar{A}$ -free module とすれば,  
 $F_1, F_2$  を含むものが存在するから, 我々は  $M \subset L \subset F$ ,  $L, F$  は free  $\bar{A}$ -module,  $F/M$  から得られるものを  $M_2$ ,  $L/M$  から得られるものを  $N_2$  とすれば  $M_2 = N_2$  であることを示せばよい。  $L/M \cong F/M$  で  $\text{ht Ann}(M_2/M) > 1$  即ち  $N_2 \subseteq M_2$  は明らか。逆を示す。そのためには,  $M_2 \subseteq L$  を示せばよい。今  $M_2 \not\subseteq L$  とする。  $N = M_2 + L$  とおく。このとき  $L \not\subseteq N \subseteq F$  であるから  $\text{Ann}(N/L) \supseteq \text{Ann}(M_2/M)$ 。従って  $\text{ht Ann}(M_2/M) > 1$  だから  $\text{ht Ann}(N/L) > 1$ 。  $\mathfrak{p}$  を  $\text{Ann}(N/L)$  の minimal prime divisor とする。このとき  $\mathfrak{p} \in \text{Ass}(N/L)$  だから  $\text{Hom}_{A_{\mathfrak{p}}}(A_{\mathfrak{p}}/\mathfrak{p}A_{\mathfrak{p}}, (N/L)_{\mathfrak{p}}) \neq (0)$ 。  $\text{ht}_{\mathfrak{p}} > 1$  故  $\text{depth } \bar{A}_{\mathfrak{p}} > 1$ , 従って  $\text{depth } L_{\mathfrak{p}} > 1$  から我々は,  $0 \rightarrow L \rightarrow N \rightarrow N/L \rightarrow 0$  (exact) から

$$\text{Ext}_{A_{\mathfrak{p}}}^0 \left( \underset{(0)}{A_{\mathfrak{p}}/\mathfrak{p}A_{\mathfrak{p}}}, L \right) \rightarrow \text{Ext}_{A_{\mathfrak{p}}}^0 \left( \underset{(0)}{A_{\mathfrak{p}}/\mathfrak{p}A_{\mathfrak{p}}}, N_{\mathfrak{p}}/L_{\mathfrak{p}} \right) \rightarrow \text{Ext}_{A_{\mathfrak{p}}}^1 \left( \underset{(0)}{A_{\mathfrak{p}}/\mathfrak{p}A_{\mathfrak{p}}}, L \right)$$

これは矛盾。だから  $\text{Ann}(M_2) = A$ , よって  $M_2 \subseteq L$  を得る。

補題:  $\text{ht } P \cap A = 1$ ,  $P \in \text{Ht}_1(\bar{A})$  の仮定のもとでは  $\text{ht } P > 1$  であれば  $\text{depth } \bar{A}_P > 1$ .

証明 (i)  $\phi: A \rightarrow B$  を noetherian rings の homomorphism,  $M$  を  $B$ -module とすれば  $\text{Ass}(M) = \phi(\text{Ass}_B(M))$ . 今  $\text{depth } \bar{A}_P = 1$  とすれば  $0 \neq a \in P$  であり,  $P \in \text{Ass}_A(\bar{A}/a\bar{A})$ . 一方  $\text{Ass}_{\bar{A}}(\bar{A}/a\bar{A}) = \{P \in \text{Ht}_1(\bar{A}), P \ni a\}$ , 従って  $\text{Ass}_A(\bar{A}/a\bar{A}) = \phi(\text{Ass}_{\bar{A}}(\bar{A}/a\bar{A}))$  故  $P \in \text{Ht}_1(\bar{A})$  であり  $P = P \cap A$  である。仮定から  $\text{ht } P = 1$ .

(ii)  $P \in \text{Ass}(M_2/M)$  とすれば  $M_2$  の定義から  $\text{ht } P > 1$ , 従って  $\text{ht } F_P > 1$ , 又  $P \in \text{Ass}(F/M)$  故  $\text{Hom}_{A_P}(A_P/P A_P, F_P/M_P) \neq (0)$ . よって,  $0 \rightarrow M_P \rightarrow F_P \rightarrow F_P/N_P \rightarrow 0$  (exact) から我々は  $\text{Ext}_{A_P}^0(A_P/P A_P, F_P/M_P) \cong \text{Ext}_{A_P}^1(A_P/P A_P, M_P) \neq 0$  を得る。従って  $\text{depth } M_P = 1$  だから  $P \in \Delta(M)$ . 逆に  $P \in \Delta(M)$  とすれば  $\text{ht } P > 1$  で今示したことから,  $\text{Hom}_{A_P}(A_P/P A_P, F_P/M_P) \neq (0)$  従って  $P \in \text{Ass}(M_2/M)$ . 特に我々は  $\text{ht } P \cap A = 1$ ,  $P \in \text{Ht}_1(\bar{A})$  の仮定がなくとも次の結果を得る。

命題:  $\{P \in \text{Spec } A : \text{depth } A_P = 1\} = \text{Ht}_1(A) \cup \text{Ass}(\bar{A}/A)$ .

(2) *seminormality* は *depth one* のイデアルで判定される。  
*seminormalization* 及び "*seminormal*" については先の教理解析  
 研講究録「可換環の研究」(No. 374) に詳しく述べたので、  
 ここではその結果のみを記する。

定理:  $A$  を  $S_1$ -条件を満たすネータ環,  $R$  を  $A$  と  $Q(A)$  の  
 中間環で有限  $A$ -module なるものとする。  $\phi: A \rightarrow R/A = N$   
 に対して  $\phi^{-1}(N_i) = A_i(R)$  とおくと,  $A_i(R)$  は  $R$  の部分環であ  
 る。このとき  $A$  が  $R$  の中で *seminormal* である必要充分条件  
 は conductor  $\mathfrak{f}(A_i(R)/A)$  が  $A_i(R)$  の *radical ideal* である。

$A$  が  $R$  の中で *seminormal* であれば,  $A$  は  $R$  の *glueings* で  
 与えられるが, それは  $\text{Ass}(R/A)$  によって次の様にして与えら  
 れる。

定理:  $A$  は  $R$  の中で *seminormal* で,  $\text{Ass}(R/A) = \{\mathfrak{p}_1, \dots, \mathfrak{p}_n\}$   
 とする。  $\mathfrak{p}_i$  上の  $R$  の *prime ideals* を  $P_{i1}, \dots, P_{ie_i}$ ,  $e_i \geq 1$ ,  
 とし元  $f \in R$  の  $P_{ij}$  による *residue class* を  $f(P_{ij})$  と書けば:

$$A = \{f \in R : f(P_{i1}) = \dots = f(P_{ie_i}) \equiv f(\mathfrak{p}_i) \pmod{A_i(R)}\}, \text{ ここで}$$

$$A_i(R) = Q(A/\mathfrak{p}_i) \text{ である。}$$

環の gluing の例を述べてみよう。

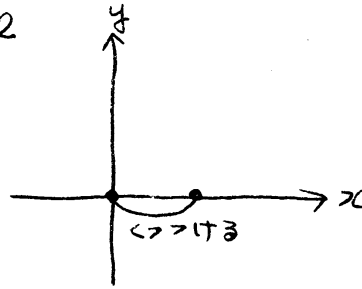
例1. 2つの平面上の2点をくっつけて1点にする。

$$R = k[x, y] e_1 + k[x, y] e_2, \quad e_i e_j = \delta_{ij} e_i,$$

$$A = \{ \varphi_1(x, y) e_1 + \varphi_2(x, y) e_2 \in R : \varphi_1(0, 0) = \varphi_2(0, 0) \}$$

$$= k[x, y, z, v] / (xz, xv, yz, yv)$$

例2



$$R = k[x, y]$$

$$A = \{ \varphi(x, y) \in R : \varphi(0, 0) = \varphi(1, 0) \}$$

$$= k[x(x-1), x^2(x-1), y]$$

例3 1つの直線と1点をくっつける。 $t$  は変数。

$$A = \{ \varphi(x, y) \in k[x, y] : \varphi(0, 0) = \varphi(0, 1) \}$$

$$= k + (xy, (x-1)y) k[x, y].$$

$A$  はネーター的でない, 従って有限生成でないが,  $\bar{A} = k[x, y]$  である。

(2) overring  $R$  が  $A$  上 flat かどうかは depth one の prime ideals で判定できる。

定理:  $A$  をネータ-整域,  $R$  を  $A$  と  $Q(A)$  との中間環とする。

このとき  $R$  が  $A$  上 flat である必要充分条件は、 $A_{\mathfrak{P}} \cong R$ ,  
 または  $\mathfrak{P}R = R$  がすべての  $\text{depth } A_{\mathfrak{P}} = 1$  をみたす  $\mathfrak{P} \in \text{Spec } A$   
 に対して成り立つ事である。

証明:  $FA(R) = \{\mathfrak{P} \in \text{Spec } A : A_{\mathfrak{P}} \not\cong R\}$  の minimal element  
 は  $\text{depth } 1$  の prime ideal である事をまず示そう。  $\mathfrak{P}$  を  
 $FA(R)$  の minimal element として  $\text{depth } A_{\mathfrak{P}} > 1$  とすれば、  
 $A_{\mathfrak{P}} = \bigcap_{\mathfrak{Q} \in \mathfrak{P}} A_{\mathfrak{Q}}$  で  $\mathfrak{Q} \in FA(R)$  ゆえに  $A_{\mathfrak{Q}} \cong R$  から  $A_{\mathfrak{P}} \cong R$  と  
 なり矛盾する。

$R$  が  $A$  上 flat である必要充分条件は  $\mathfrak{P} \in \text{Spec } A$  に対して,  
 $A_{\mathfrak{P}} \cong R$  または  $\mathfrak{P}R = R$  であるから  $FA(R)$  の minimal element  
 $\mathfrak{P}$  は  $\text{depth } 1$  で、仮定から  $\mathfrak{P}R = R$  ゆえに我々の証明は終わ  
 る。

(3) flat overring  $R$  が  $A$  上で有限生成であることは  
 $\text{depth } 1$  によって決まる。

命題,  $R$  が  $A$  上環として有限生成ならば  $FA^*(R) = \{\mathfrak{P} \in \text{Spec } A$   
 $: \text{depth } A_{\mathfrak{P}} = 1, A_{\mathfrak{P}} \not\cong R\}$  は有限集合。逆に  $R$  が  $A$  上 flat の  
 とき  $FA^*(R)$  が有限集合であれば  $R$  は  $A$  上有限生成である。



証明:  $R = A[\alpha_1, \dots, \alpha_n]$ ,  $\alpha_i \in R$  とする。  $\alpha_1, \dots, \alpha_n$  の共通分母の1つ  $\alpha$  とすれば,  $F_A^*(R) \cong \{ \mathfrak{P} \in \text{Spec } A : \mathfrak{P} \text{ は } \alpha A \text{ の prime divisor} \}$  から  $F_A^*(R)$  は有限集合である。

$R$  は  $A$  上 flat とし,  $F_A^*(R) = \{ \mathfrak{P}_1, \dots, \mathfrak{P}_r \}$  とする。  $\alpha_2 = \mathfrak{P}_1 \cap \dots \cap \mathfrak{P}_r$  とおくと,  $\alpha_2 R = R$ , 従って  $\alpha_1, \dots, \alpha_n \in R$ ,  $a_1, \dots, a_n \in \alpha_2$  で  $\sum \alpha_i \alpha_i^{-1} = 1$ .  $C = A[\alpha_1, \dots, \alpha_n] \subseteq R$  とおく。

$C$  は  $A$  上 flat で  $F_A^*(R) = F_A^*(C)$  は簡単にわかる。一対  $A$  上 flat 中へ  $R = \bigcap_{\mathfrak{P} \in F_A^*(R)} A_{\mathfrak{P}}$ ,  $\text{depth } A_{\mathfrak{P}} = 1$ , から  $R = C$  となる。

(4)  $R \in A$  の拡大整域とする。  $R$  の中で  $A$  が root closed とは,  $t \in R$  で今ある整数  $n > 0$  があって  $t^n \in A$  であれば  $t \in A$ 。  $R \in A$  と  $\mathcal{Q}(A)$  の中間環とすれば,  $A$  が  $R$  の中で root closed である必要充分条件は,  $A$  が  $A$  の  $R$  の中での integral closure の中で root closed. よって  $R$  は  $A$  上 integral とすれば,  $A$  が root closed であれば  $A$  は  $R$  の中で seminormal であるが特に次の判定法を得る。

命題  $R$  は  $A$  上 integral で birational とする。このとき  $A$  は  $R$  の中で root closed である必要充分条件は  $\text{Ass}(R/A) \ni \mathfrak{P}$ ,  $\text{ht } \mathfrak{P} = 1$ , に対して conductor  $\mathfrak{c}(A_{\mathfrak{P}}(R)/A)$  は  $A_{\mathfrak{P}}(R)$  の radical ideal で  $\mathfrak{P}$  上の  $A_{\mathfrak{P}}(R)$  の prime ideals は  $\mathfrak{c}$  に属す。

よって  $A$  は  $R$  の中で  $\text{root closed}$  である。

証明:  $\text{Ass}(R/A) = \{P_{ij}, \text{ht } P_{ij} = i, 1 \leq j \leq e_i\}$  とし、  
 $P_{ij}$  上の  $A_i(R)$  の prime ideal を  $P_{ij}$  とする。  $R \ni t, t^n \in A$   
 とし、  $t \in A_i(R)$  に関する induction で示す。  $t \in A_{i-1}(R)$  とする。  
 $t(P_{ij})^n \in k(P_{ij})$  で  $k(P_{ij})$  が  $k(P_{ij})$  の中で  $\text{root closed}$  故  $t(P_{ij}) \in k(P_{ij})$ , 従って  $t \in A_i(R)$ , よって  $i = d$  のとき  $t \in A$  を得る。

$A$  は  $R$  の中で  $\text{root closed}$  であるとは  $A$  は  $R$  の中で  $\text{semi-normal}$  である。ゆえに  $\sqrt{(A_i(R)/A)}$  は  $A_i(R)$  の radical ideal。  
 $\mathcal{P} = P_{ij}$  上の  $A_i(R)$  の prime ideals を  $P_1, \dots, P_u, u \geq 2$  とする。

$A$  は  $R$  の中で  $\text{root closed}$  故  $A$  は  $A_i(R)$  の中で  $\text{root closed}$ , 従って  $A_{\mathcal{P}}$  は  $R_{\mathcal{P}}$  の中で  $\text{root closed}$  である。

このとき  $A_{\mathcal{P}} = \{x \in R_{\mathcal{P}} \mid x(P_1) = \dots = x(P_u) \in k(\mathcal{P})\}$  であるが、  
 $R_{\mathcal{P}} \otimes_{A_{\mathcal{P}}} k(\mathcal{P}) = k(P_1) \times \dots \times k(P_u)$  中にある元  $x \in R_{\mathcal{P}}$  で  $x(P_1) = -1, x(P_2) = \dots = x(P_u) = 1$  なるものがある。従って  $x^2 \in A_{\mathcal{P}}$  だが  $x \notin A_{\mathcal{P}}$ , これは  $A_{\mathcal{P}}$  が  $\text{root closed}$  であることに反する。従って  $P_{ij}$  上の  $A_i(R)$  の prime ideals はただ一つ。

これを  $P_{ij}$  とすれば、 $R(P_{ij})$  が  $R(P_{ij})$  の中で *root closed* であることは今示したことで明らかとなる。